

FURUTECH

Review

AUDIO BASIC

2012 SUMMER vol.63 - Japan



ADL

Esprit

オーディオインターフェース ¥71,400
TEST REPORT by 林 正儀



■背面:写真はプロトタイプで、製品では192/96のソース切り替えスイッチが加わる。

●型式:オーディオインターフェース●デジタル入力:3系統(USB、RCA同軸、TOS光)●アナログ入力:2系統(RCA)●対応サンプリング周波数・bitレート:[USB]96kHz・24bit(録音・再生、最大)、[RCA同軸・TOS光]24bit・192kHz(最大)●アナログ出力:2系統(RCA)、ヘッドフォン(φ6.3mm)●デジタル出力:1系統(TOS光)●ヘッドフォン出力:156mW(16Ω)、224mW(32Ω)、130mW(300Ω)、76mW(600Ω)●寸法・重量:150W×57H×141Dmm・0.9kg

ハイレゾの精密な音像、空間表現を描き出す大人のサウンド

先の本社GT40は、アナログレイドのデジタル化もこなす多機能型オーディオインターフェースとして、ストレートなポリアル表現を含め私のお気に入りだが、よりハイスベックな上位機種として登場したのが本機Esprit(エスプリ)だ。192kHz/24ビット対応のウォルソン製DAC、WM8716を搭載。一方のADCチップはシラスロジック製だ。

USBオーディオは持ち前のノリのよさ、前へ押し出すエネルギーシユな展開に加え、ハイレゾらしい音像の精密さや空間表現が高まった印象だ。女性ポリアルに滑らかなツヤがのり、ピアノや弦のみずみずしい余韻も難なく楽しませる余裕の表現、バス音域の安定した大人のサウンド……。まさに「エスプリ」である。

軸/光入力、アナログライン1、2の豊富なインターフェースを備える。奥行きが3センチほど伸びたこと。入力セレクトが前面操作となり、3段階に録音レベルを切り替えるトグルスイッチが加わったのが外観上の変更点だ。